

平成 24 年度滋賀県がん診療連携協議会

第 1 回 がん登録推進部会 議事概要

日時：平成 24 年(2012 年)5 月 25 日 (木) 16:00～17:20
場所：滋賀県立成人病センター 新館 11 階会議室
出席者：目片英治、太田悦子 (滋賀医科大学医学部附属病院)
森明子 (大津赤十字病院)
寺村清一郎 (公立甲賀病院)
寺村康史、志井千明 (彦根市立病院)
東出俊一、大橋依子 (市立長浜病院)
樋口壽宏、田中一史 (成人病センター)
奥井貴子 (滋賀県健康福祉部健康長寿課)
欠席者：土井隆一郎 (大津赤十字病院)
龍見謙太郎 (公立甲賀病院)

<敬称略>

討議内容

1. 部会長挨拶

樋口新部会長 (成人病センター婦人科部長兼医療情報室長) より挨拶

2. 新委員紹介

龍見謙太郎 (公立甲賀病院) 長期出張のため本日欠席
志井千明 (彦根市民病院)
大橋依子 (市立長浜病院)
奥井貴子 (滋賀県健康福祉部健康長寿課)

3. 各拠点病院の現状調査結果報告

- ・ 各施設、大きな変更なし。
- ・ 4 月 5 日付けで厚生労働省健康局長より県に、平成 24 年度のがん診療連携拠点病院機能強化事業の補助金申請について、年間の院内がん登録件数によりランク分け (2,000 件以下と以上) するとの通知があった。(がん相談支援センターの相談員と相談件数も同様) 新年度に入ってからのお知らせであり、対応に苦慮している。
この件について、後日、この通知を取り消す旨の通知があった。
- ・ がん登録実務中級研修修了者の配置は、現在のところ必須要件ではないが、各拠点病院に配置されるよう努めたい。

4. 今年度事業計画

- ・ 資料の案のとおり承認。
- ・ 一部予定変更について
7 月 20 日の実務相談会は、地域がん登録関連の行事と重なったため変更。
⇒開催会場提供の公立甲賀病院と再調整⇒⇒ 7 月 13 日 (金) に変更
2 月 15 日は部会と実務相談会が重なった
⇒日は変更せず、実務相談会も成人病センターで開催する。

- ・5/21開催の第1回実務研修会は39名の参加。(京都府から2名含む)

5. がん対策推進計画評価と次期計画策定の予定について

<健康長寿課より>

今年度は、平成20年12月に施行した「滋賀県がん対策推進計画」の5年目にあたり、6月より3回の滋賀県がん対策推進協議会を開き、計画の評価と次期計画策定を行う予定である。また、今年は「滋賀県保健医療計画」の見直しの年でもある。

現計画では分野別に目標を定めており、「がん登録」については①地域がん登録届出医療機関の増加、②院内がん登録実施医療機関の増加、③拠点病院がん登録実務者の研修受講促進、④地域がん登録データの精度向上、⑤拠点病院の5年生存率公表、以上5点であるが、どれも成果はあるものの数値目標を達成できていない。

- ・現在の計画は本部会が設置される前に策定されたもので、①②については目標設定に問題があったのではないかと。拠点病院、支援病院の院内がん登録を充実することで、県の地域がん登録数の殆どをカバーできるはずであり、目標設定を(医療機関数ではなくがん登録数で)考え直すべきである。
- ・本部会の取組みとしては(拠点病院の役割として)支援病院をはじめ各医療圏内の医療機関への協力体制をとることができる。県として支援病院の指定要件に「拠点病院と同等の院内がん登録」を求めているのであれば、支援病院における院内がん登録にかかる体制や状況について調査し、確認すべきである。
- ・地域がん登録事業として、県内医療機関のがん登録に関する状況を調査する。

6. 本部会と支援病院の関係について

- ・拠点病院協議会企画運営委員会で、各部会への支援病院の参加について検討された。がん登録部会では、当初からがん登録実務研修会・相談会には支援病院を含む県内医療機関に案内し参加されている。
- ・がん登録に関しては、本部会へ参加いただくというより、支援病院に情報提供を密に行い、がん登録の重要性を訴えていくこととする。

7. がん登録情報の活用について

- ・昨年度までに収集した2007年～2010年診断分データについて、各施設から「症例区分」「発見経緯」「来院経路」などの項目を基準に「施設別」「部位別」「臨床病期別」「診断年別」「当該腫瘍初診月別」などの集計結果を持ち寄り確認した。
- ・部位別の発見経緯における「がん検診」については、乳がんや子宮頸がんについては検診の限定が難しい。
- ・子宮がん検診の評価をする場合は(子宮体がんと合算せず)子宮頸がんのみを対象にすべきである。
- ・今回の集計を更に深め、がん登録情報の精度管理に活かすとともに、部会として一定のまとめを行い、学会等で報告する。(部会終了後、がん登録実務担当者で打合せを行い、分析作業の分担を確認した。)
- ・昨年度公開された2009年診断分データの全国集計のうち、大腸がんⅢ期の化学療法実施件数についてばらつきがあるという指摘を(院外から)受けたので確認したと

ころ、公開された報告書には臨床病期と受療状況が示されていた。実際には、手術実施症例では術後病理学的病期により術後化学療法のは非を決定していることから、詳細に検証すれば説明のつくことであった。今後は、本部会で、このような点について報告書内容等を検討していく必要がある。

8. 予後（生存確認）調査について <資料⑤>

<地域がん登録からの補充調査のお願い>

・地域がん登録では、2003年～2006年罹患分について、生存確認調査を今年度に行う予定であるが、各市町等に住民票照会を実施する前の補充調査として、届出情報にかかる最終受診日情報の提供について協力をお願いした。

9. その他

<地域がん登録より紹介>

大阪府ではすでに運用されている一般社団法人がん統計センターの統計システム (<http://www.ccstat.jp/>) について、滋賀県でも導入できるよう検討したい。

<資料>

平成24年度 **がん登録推進部会 事業計画**

20120530_修正

月 日	事 業	開催場所
5月21日	実務研修会①【がん登録統計について①】 39名参加 講師：大阪府立成人病センター 井岡亜紀子先生	成人病センター 新館 11階会議室
5月25日	第1回部会 がん対策推進計画評価・次期計画策定について がん登録情報の活用について その他	成人病センター 新館 11階会議室
6月14日	実務研修会②【がん登録統計について②】 講師：大阪府立成人病センター 井岡亜紀子先生	成人病センター 新館 11階会議室
7月13日	実務相談会① 滋賀県におけるがん検診の実施状況について (がん検診精度管理担当保健師より説明)	公立甲賀病院 管理棟 1階会議室
9月21日	第2回部会 がん登録情報を活用した拠点病院機能の分析など	成人病センター 新館 11階会議室
10月19日	実務相談会② 拠点病院によるがん登録情報活用事例の報告など	大津赤十字病院 8階AB会議室
11月 日未定	実務研修会③【がん登録統計について③】 講師：大阪府立成人病センター 井岡亜紀子先生	成人病センター 新館 11階会議室
1月10日	2010診断分データ提出前収集	成人病センター 新館 11階会議室
2月15日	実務相談会③	成人病センター 東館講堂
2月15日	第3回部会	成人病センター 新館 11階会議室